

関平だより

平成20年11月号



発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日 第1及び第3火曜日

霧島の歳時記

紅葉の季節、色とりどりに変化する木々は本当に美しいです。そして紅葉は美しいだけでなく、そこに自然の威厳を感じさせる神秘的な現象でもあります。日々の中で見つけることができるちょっとした紅葉も素敵ですが、やっぱり紅葉の季節は紅葉スポットに出かけたいものです。お出かけにもって



霧島大浪の池の紅葉

こいのこの季節は、霧島温泉郷からえびの高原へ続く県道104号は「もみじロード」と呼ばれ、赤く色づいたモミジが延々と続き、車窓からも見るができます。紅葉と温泉、紅葉と滝巡り、プラスあなたの好きなことを組み合わせたお出かけプランを立てる

のもまた楽しいのではないのでしょうか。霧島神宮へ続く国道223号の街路樹のモミジや、丸尾の滝も必見！

ご 報 告



関平温泉

温泉入浴指導員養成講習会受講！！

平成15年7月に厚生労働省におきまして、温泉の安全かつ適切な利用方法を指導する「温泉入浴指導員」の資格が創設されました。今回、関平温泉の職員も利用者に正しい温泉の入り方や健康づくりの面での活用方法の指導や、応急手当などについて、温泉入浴指導員養成講習会を受講して参りました。

年末年始の営業のお知らせ

いつもご愛飲ありがとうございます。少し早いのですが、関平温泉・関平鉱泉所の年末年始の営業を、下記のとおりお知らせいたします。

関平温泉 【年内の営業】 平成20年12月28日 午後8時まで
【年始の営業】 平成21年 1月 4日 午前9時より
【営業時間】 午前9時～午後8時

【年内の営業】 平成20年12月28日 午後5時まで
【年始の営業】 平成21年 1月 3日 午前8時30分より
【営業時間】 午前8時30分～午後5時

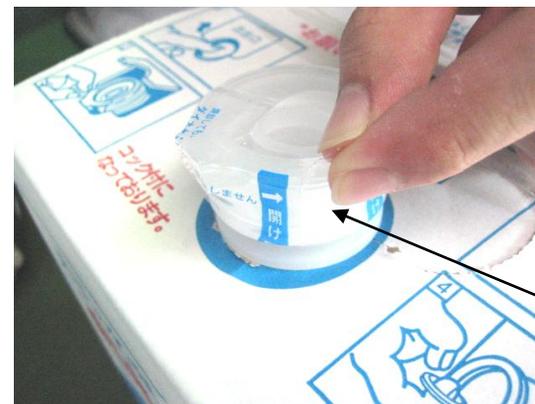
関平鉱泉所

なお、年内での確実な到着をご希望の場合は、
※ 郵便振替をご利用の方は、12月25日までにお手続きをお願いいたします。
※ 代金引き換えをご利用の方は、12月25日までにお申し込みください。
※ 毎月の定休日は、第1と第3火曜日です。

お客様の声

【ご意見】 20Lボックスで水を出したら、コックから水が広がって出る。

【お答え】 購入された時、抽出口に透明なシールが付いており、シールを取り外して使用するわけですが、途中で切れて水の出口に一部残っていたことによるもので、シールを取り除くことで解消されました。
10L・20Lのコックに付いているシールを取り外す時、途中で切れることがありますので完全に取り外してご使用ください。

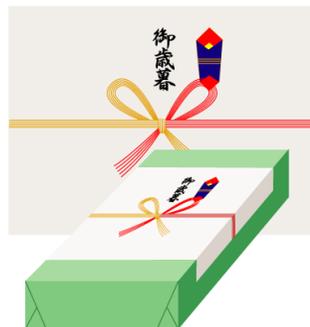


※汚れ防止や衛生面を考慮し、キャップシールが装着されております

お歳暮のおすすめ

もうすぐお歳暮のシーズンになります。お歳暮の品は、もうお決めになりましたでしょうか？「お世話になったあの方に・・・いつまでも健康であってほしいあの方に・・・」と、あなたの感謝と願いを込めて、関平鉱泉をお歳暮にぜひお使いください。

なお、お歳暮用の「のし」も用意しておりますので、お気軽にお申し付けください。



関平温泉のご紹介

これからの時期、長湯するには丁度いい季節♪

霧島の山々や紅葉など、贅沢な眺めを独り占めできるデッキチェアを備えたテラス。爽やかな風を頬に感じながら、ゆったりと流れる時間に身を委ねれば、日常を忘れきつと心も体もリフレッシュされるはず！



大空の下、開放感溢れる貸切露天風呂での入浴はサイコー♪

内湯は新床温泉と関平温泉の二種類の源泉の浴槽があり、同時に二つの温泉を楽しめます。♪もちろん天然温泉百パーセント源泉かけ流しです。



問い合わせ先：関平温泉 TEL0995-78-4012

健康知識その10

がん予防法利用法の為の予備知識

以前、がん予防法12ヶ条を掲載しましたが、みなさん実践されていますでしょうか？今月号は、がん予防の予備知識について掲載いたしました。

1. 食品や栄養素の摂取量と発がんリスクとの関係は、必ずしも単純には考えられません。

良いものは多くとるほど効果が上がるという直線的な関連になるとは限りません。この点は、特に栄養補助剤（サプリメント）の服用に際して注意が必要です。

2. 特定のがんを予防するための生活習慣が、必ずしも健康的とはいえません。

例えば、肥満に関連するがんや糖尿病を予防するにはやせればやせるほど効果的ですが、やせ過ぎてその他の部位のがんや感染症のリスクが高くないよう、総合的な健康に配慮し、バランスをとる必要があります。

3. ある人にとって最適な予防法は、常に同じというわけではありません。

がん予防のための予防戦略は、ひとりひとりの体質、生活習慣やライフステージなど、さまざまな条件との兼ね合いの中で、あらためてその位置づけを問い直さなくてはなりません。

出典：国立がんセンターがん予防研究所

編集者のひとりごと

10月25日から4日間、鹿児島県13市町で「第21回ねりんピック鹿児島2008」が開催されました。「ねりんピック」の愛称で親しまれている全国健康福祉祭は、60才以上の高齢者を中心とする各種スポーツ競技や美術、音楽などの文化イベントや健康福祉機器展、子供のフェスティバルなど、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典です。今回の鹿児島大会でも、全国から大勢の参加がありました。このような行事や地域社会へ参加することから生まれる生きがいや楽しみは、本格的な高齢社会の中で、いつまでも「生涯現役」で過ごすための活力になるのではないのでしょうか？

